



新 毎 日 新 聞

9月28日(日)
2014年(平成26年)

発行所：東京都千代田区一ツ橋1-1-1
〒100-8051 電話(03)3212-0321
毎日新聞東京本社

号 外

31人 心肺停止



たんにかに乗せられ救助隊員に救助される登山客。後方は噴火で大きく崩れた御嶽頂上山荘＝28日正午、本社ヘリから小出洋平撮影



長野、岐阜県境にある御嶽山(3067m)の噴火で、警察や自衛隊、消防などの救助部隊は28日朝からヘリコプターなどで救出活動を開始し、長野県警

によると、山頂付近で登山者ら31人が心肺停止になっているのを確認した。火山災害としては、1991年と93年に火砕流で計44人の死者・行方不明者を出した長崎県の雲仙普賢岳(1359m)災害以来の惨事となった。長野県警によると、心肺停止の31人のうち4人については陸路で木曾町に向けて搬送しているが、残る27人については噴火に伴う有毒ガスの影響で、同日

中の搬送は困難とみられる。また警察庁によると、28日正午過ぎまでに、長野県側で30人、岐阜県側で7人の負傷者が病院に搬送された。救出作業はまだ続いており、負傷者数は増える可能性がある。気象庁によると、御嶽山は27日午前11時52分に噴火。国土交通省によると、山頂南側から西側に3カ所の噴火口が確認された。週末に合わせ、御嶽山の山

頂付近は約2500人の登山者でにぎわっていた。噴火から一夜明けた28日、警察や自衛隊など計約5000人が午前6時20分ごろから長野県側の複数の登山口から入山。山頂付近に取り残された登山者らの救助や捜索に向かった。この日の救出作業では自衛隊の化学防護隊も出動し、ガスを検知しながら山頂を目指していた。【福富智、川辺和将、巽賢司】

御嶽山 山頂付近

購読お申し込み

毎日新聞のニュースサイト
<http://mainichi.jp/>

専用フリーダイヤル 0120-468012

ヨムハマイニチ